

未 来 投 資 会 議

産官協議会「次世代インフラ」

建設業の担い手

対策とCCUS

芝浦工業大学建築学部

教授 蟹澤宏剛

# 建設技能労働者全体 コーホート分析

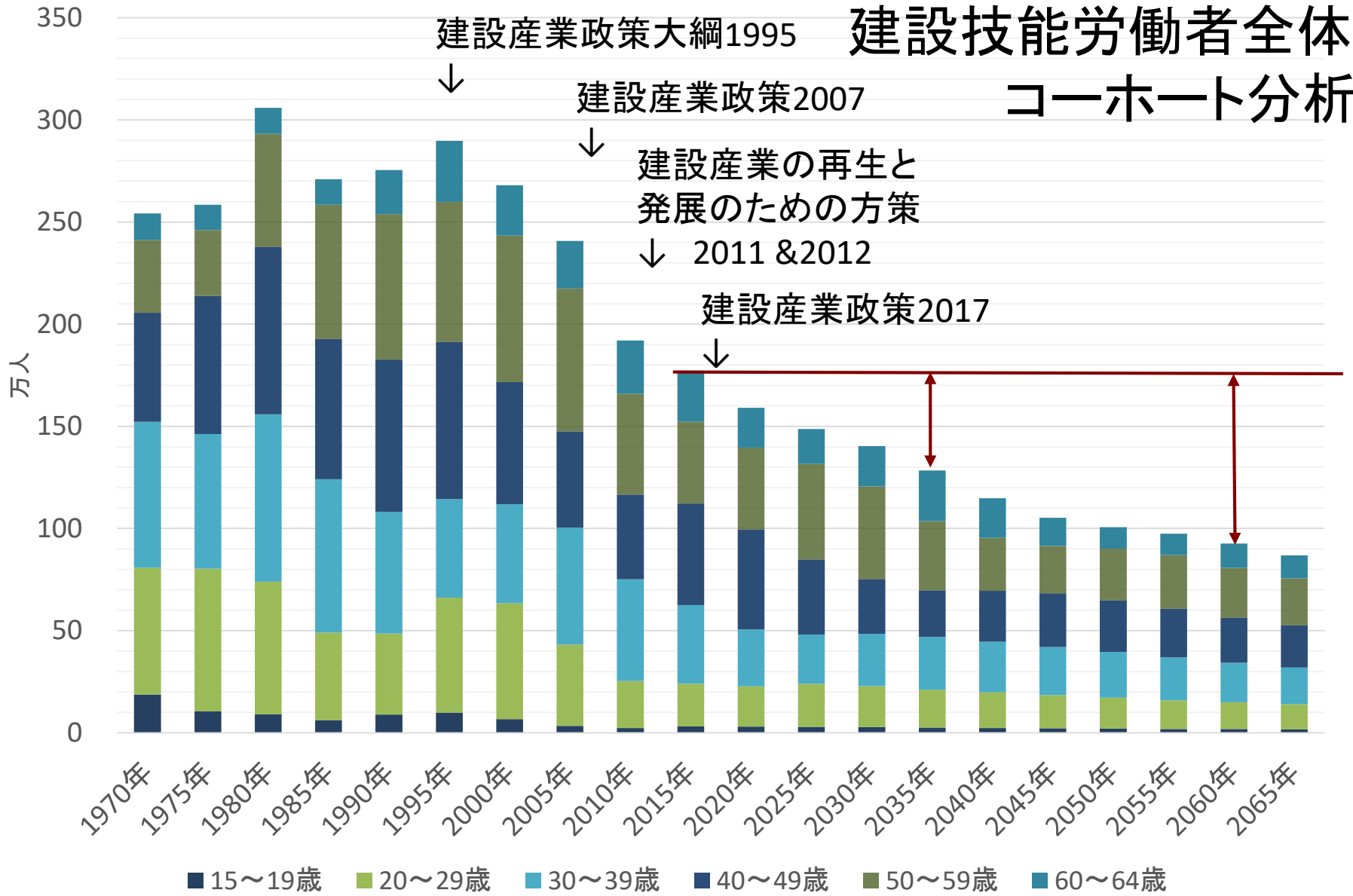
建設産業政策大綱1995

建設産業政策2007

建設産業の再生と  
発展のための方策

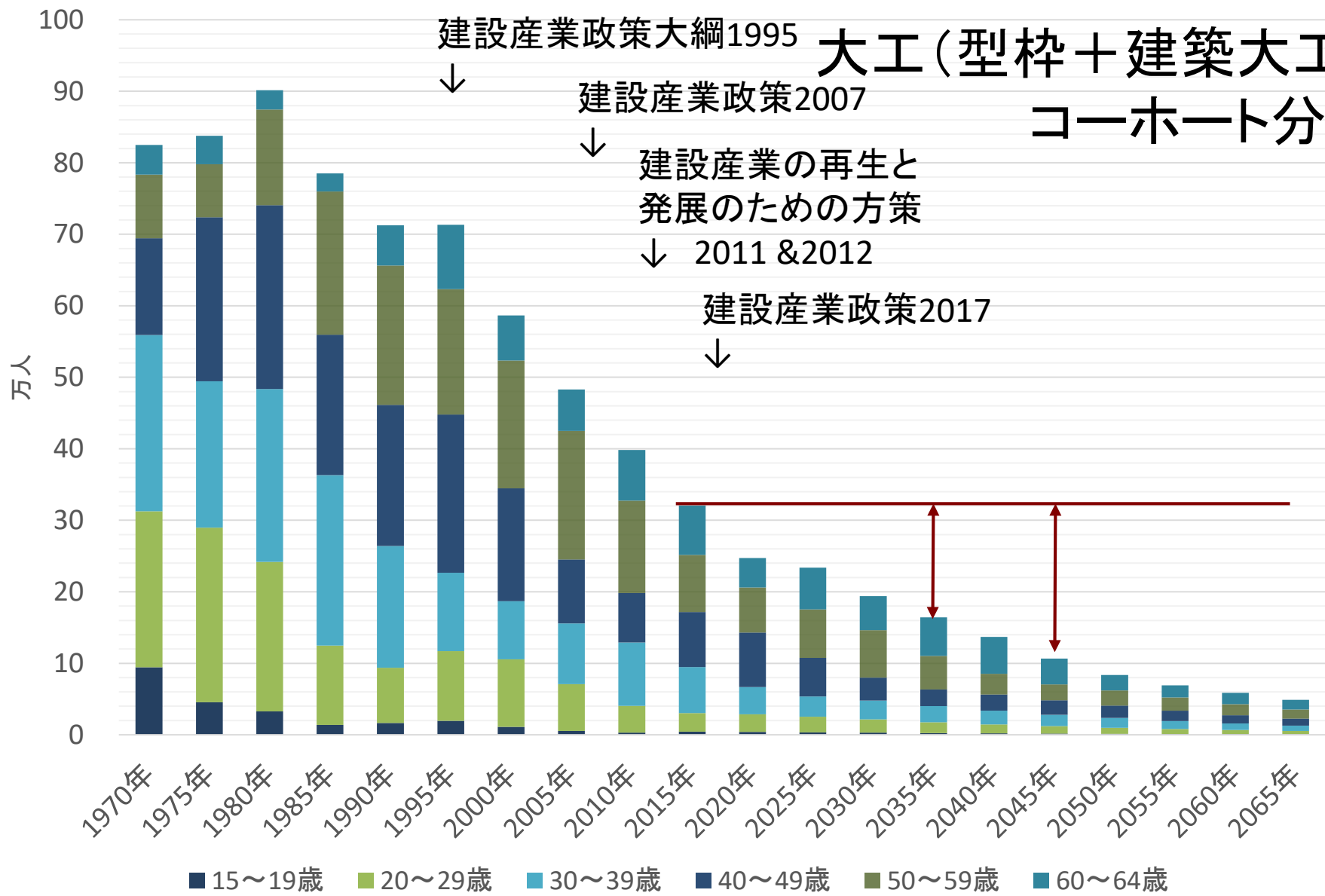
↓ 2011 & 2012

建設産業政策2017

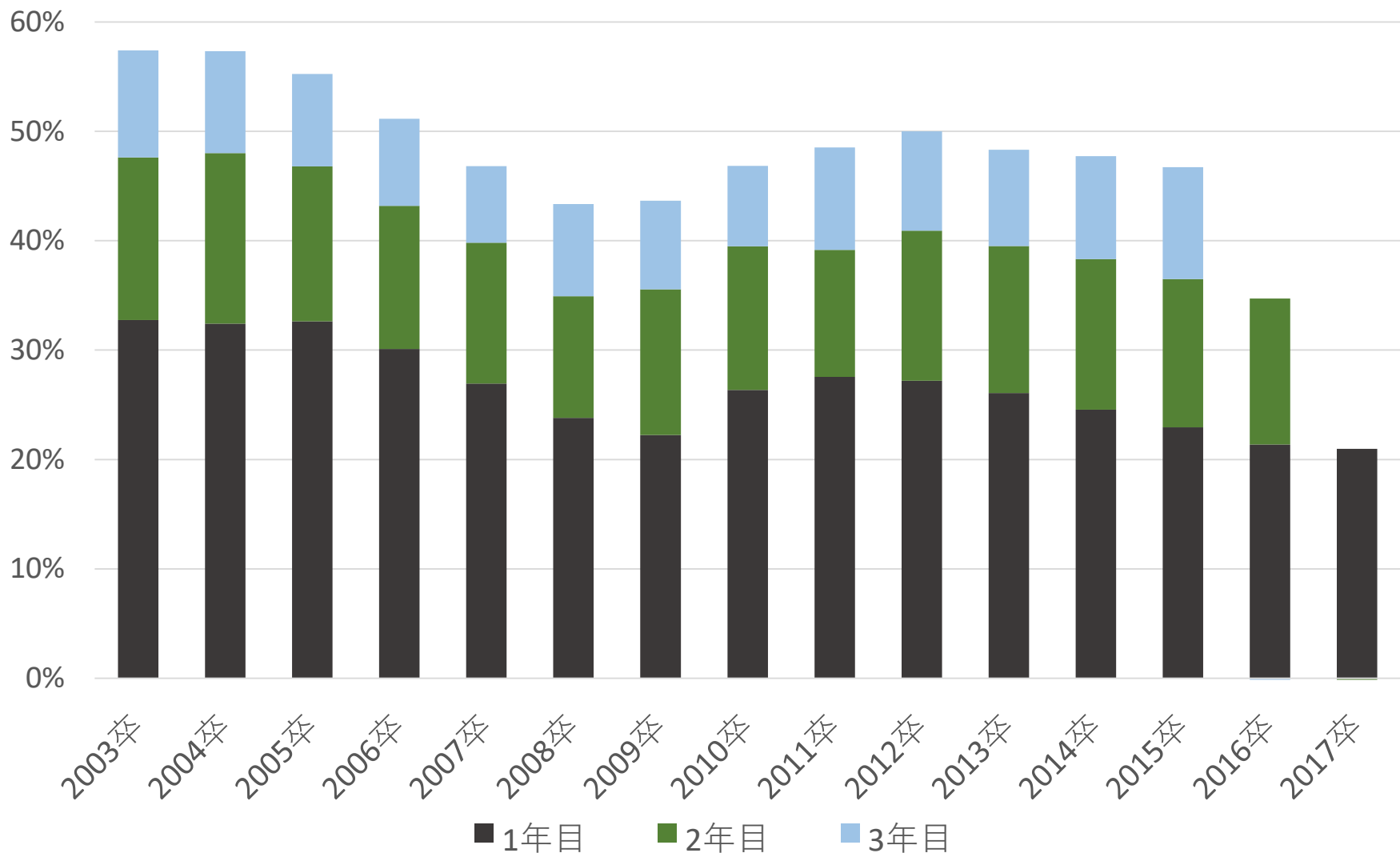


建設産業政策大綱1995  
 ↓  
 建設産業政策2007  
 ↓  
 建設産業の再生と発展のための方策  
 ↓ 2011 & 2012  
 建設産業政策2017  
 ↓

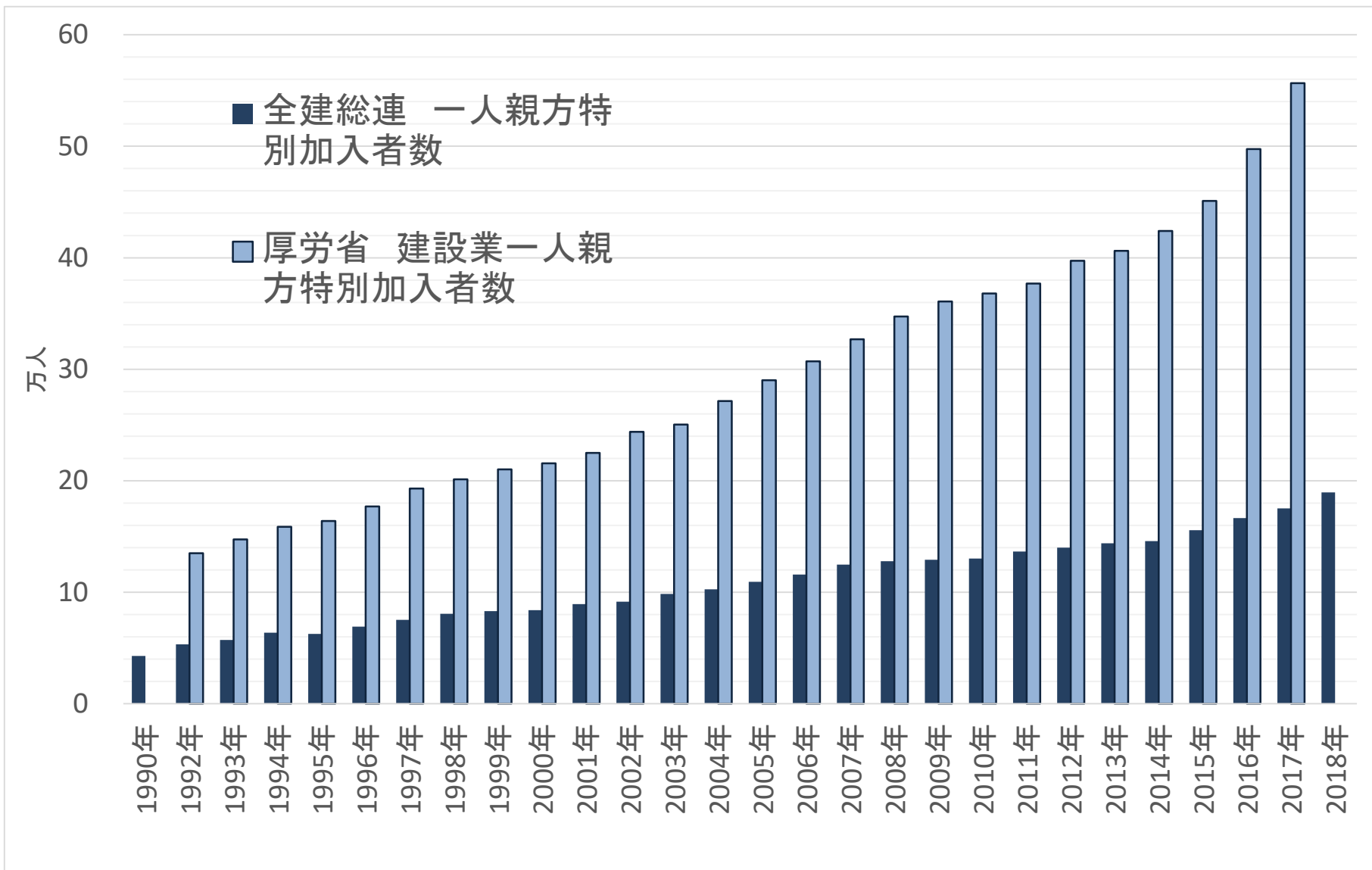
# 大工（型枠＋建築大工） コーホート分析



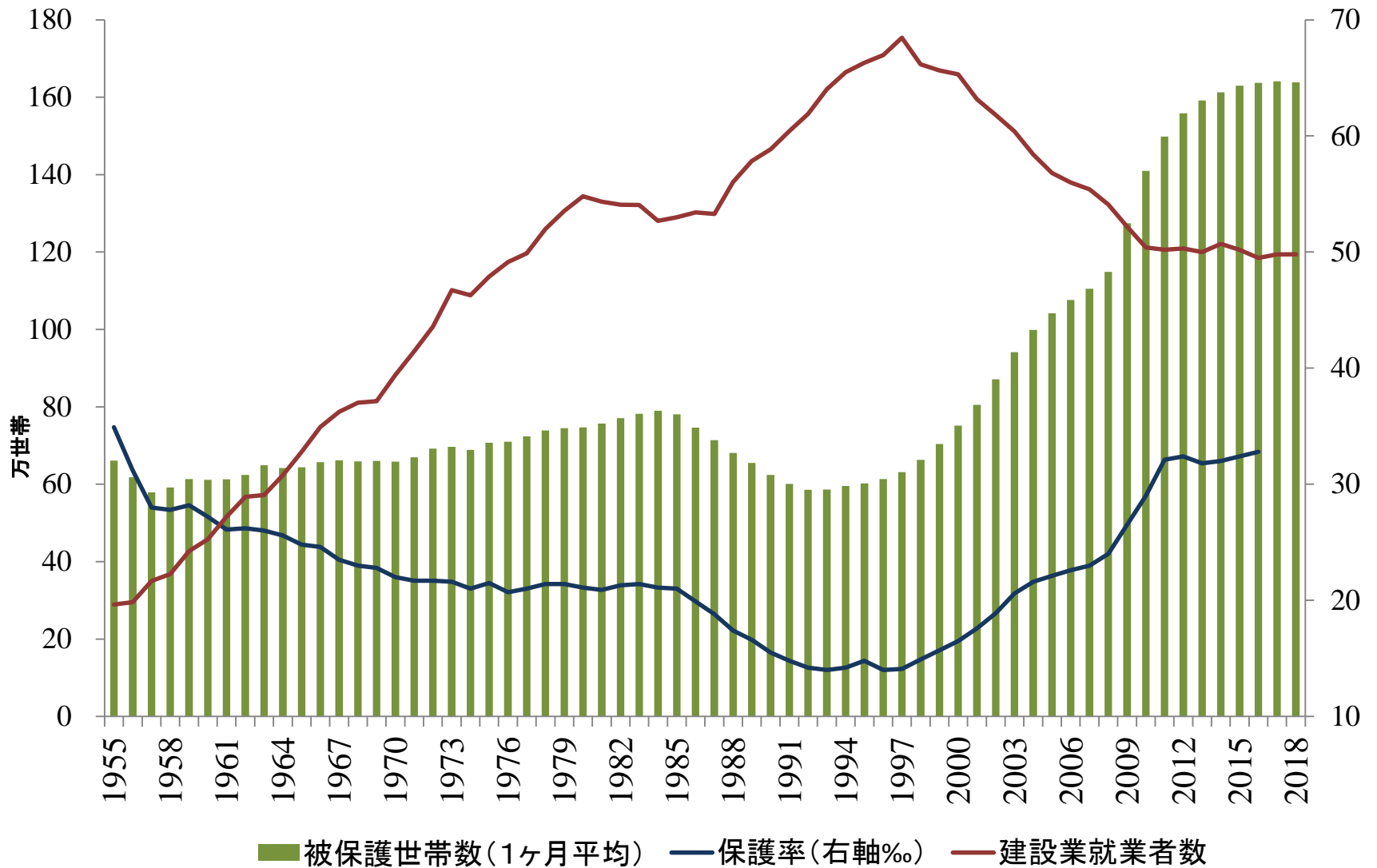
# 建設業における新卒者（高校）の離職状況



# 労災保険特別加入者数の推移



# 生活保護世帯数と建設業就労者数の推移



# 建設業の問題・課題 — 担い手確保問題 —

- 建設産業のネガティブなイメージ
  - 本当に3Kが原因なのか？
- 整備されていない入口
  - 求人票を出せない組織体制
  - 近代徒弟制(Apprenticeship)の欠如
- 描けない将来像、キャリアパスの欠如
  - 体力のピークが賃金のピークの現実
  - 能力向上、能力(学歴)積上方策の欠如
  - 技能と技術の壁
  - 労災、年金、退職金等々の不安
- 建設業で働く親が子を入れたがらないのは何故？



# 建設業の問題・課題 — 技能・技能者問題 —

- 建設技能者の証の欠如
  - 技能士等は名称独占資格
  - 自称と本物を見分けるすべがない
- 能力を測る指標の欠如
  - 大工も大六も見分けがつかない
  - 故に体力のピークが賃金のピーク
- 能力向上の仕組みや機会の欠如
  - 入り口の訓練はあるが、その先が欠如
  - 能力評価基準がないので、向上の基準が欠
  - 故に、一人前になるには10年、技は盗むもの……
- キャリアパスとジョブホップの仕組みの欠如
  - 技能から技術、管理、経営へ





# 建設業の問題・課題 — 産業の内部問題 —

- 怪我と弁当は自分持ちの体質(請負体質)
  - 時間感覚の欠如 → 低い生産性、長時間労働
  - 日給体質 → 社保未加入問題
  - 高い労災確率、死亡率(特に町場)
  - 結末は生活保護(かつては田舎の相互扶助)
- 正直者が馬鹿を見てきた歴史的経緯
  - 法令遵守が尊重されない内外要因  
(請負、一式無増減、発注者責任、お出入り感覚)
  - 政策等の暗黙裡の前提と実態の乖離
  - 業界の先送り体質(下請依存 → 重層構造)
  - 安くても手を抜かない職人氣質
- 業界の慣習と法令の乖離(看過、不作為)
  - 応援、常用精算 → 労働者供給、派遣
  - 一人親方、専属下請 → 偽装請負、偽装一人親方

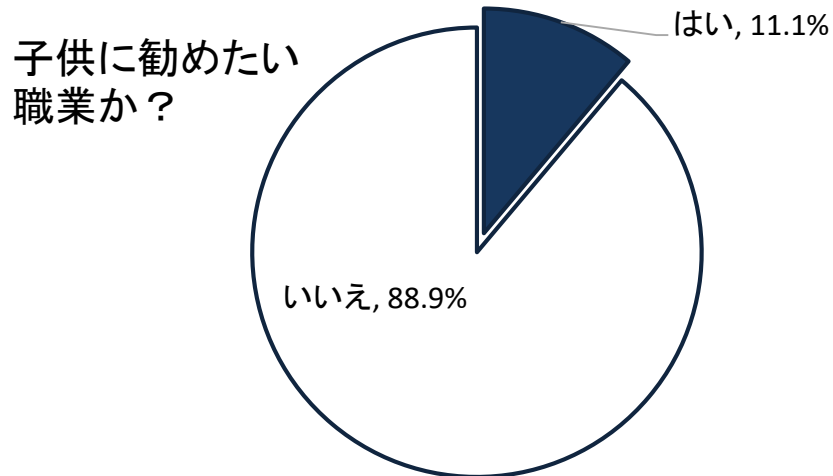
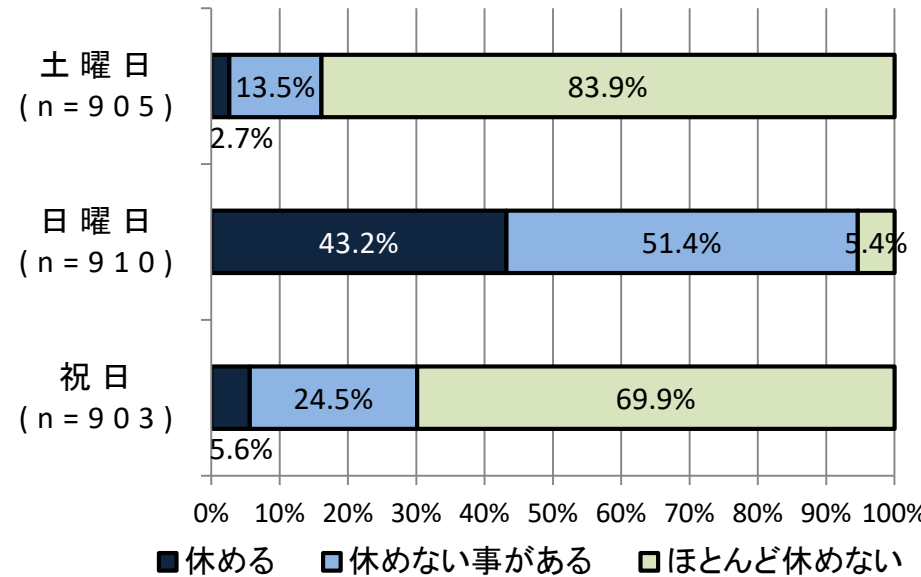
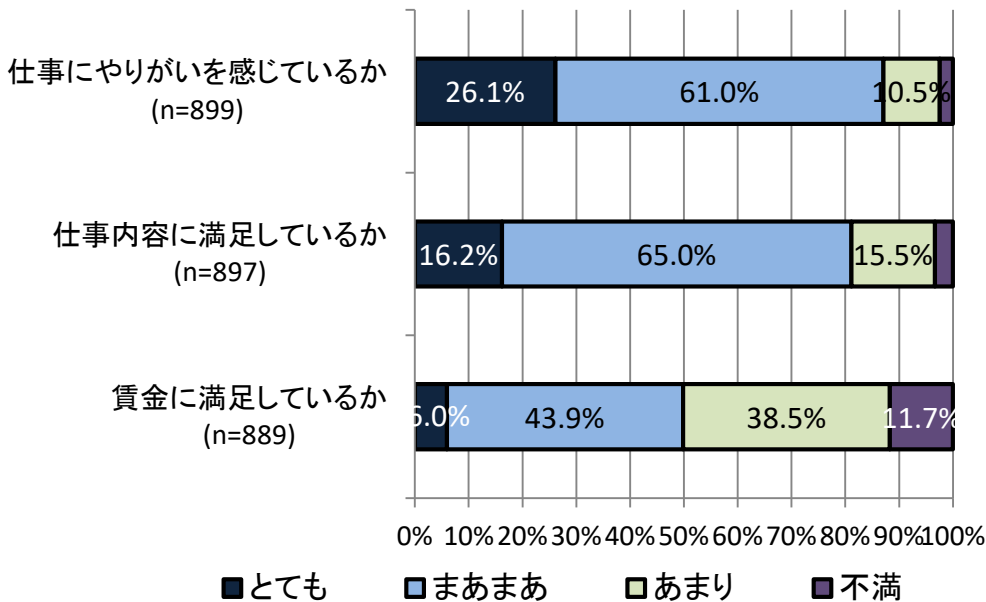


# 建設業の問題・課題 — 産業の内外部問題 —

- 労働行政と建設業
  - 請負という契約と個人の労働者性
  - 重層下請構造の中での請負労働の正当性
  - 労基法、職安法、安衛法、労災保険法等々の整合
  - 建設業の社会保険
  - 居職(終身雇用)と出職(ジョブホップ)の制度設計
- 建設行政と労働行政
- 独禁法と建設業
- 業界団体の機能とあり方
- 仕事の繁閑問題
- ITを活用した新しい業域、職能の創出



# 職長の意識(大手ゼネコンに従事)



# 建設業のネガティブなイメージ ≡ 担い手不足の元凶 何故、犯罪者は建設業が多いのか？

警察庁発表の犯罪逮捕者に占める建設業の割合 (H29)

	建設業	無職
■ 刑法犯罪全体	6.5%	53.6%
■ 凶悪犯(殺人、強盗、強制性交等)	9.1%	54.1%
■ 粗暴犯(暴行、傷害、恐喝等)	11.1%	34.2%

※ 建設業:土木建設業自営者+建設職人・配管工+土木建設労務作業

- 建設業就労者は全産業の7.6%
- 建設職人は建設業の66.3%, 全産業の5.1%



# 刑法犯罪で逮捕された者のうち 無職以外、有職者に占める建設業の割合

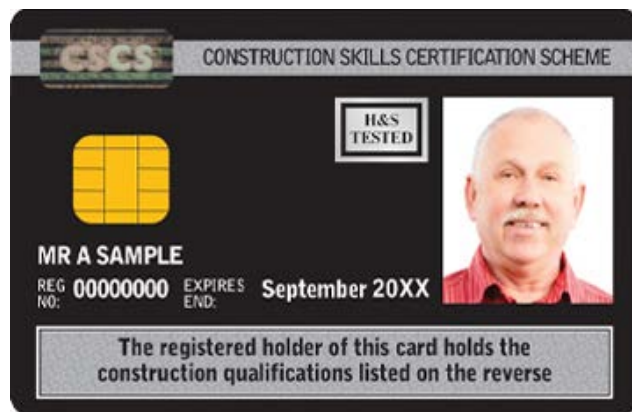
- 犯罪者に占める割合（総計） 14.0%
- 凶悪犯（殺人、強盗等） 19.9%
- 粗暴犯（暴行、恐喝等） 16.8%



# 英国のCSCSカード

(Construction Skills Certification Scheme Card)

- 現在150万人が利用(建設業就業者: 約235万人)
- 3種類・7色によるレベル分け
  - 職業訓練用: 4種類
  - 資格証明: 9種類
  - 建設専門資格証明: 36種類



# 建設技能者の定義と評価

正規ID

CCUS  
建築太郎 

基幹技能者

CCUS  
建築太郎 

職長


CCUS  
建築太郎 

班長

CCUS  
建築太郎 

見習い

仮ID

~~CCUS  
建築太郎 ~~

無ID



CCUS

〇〇工

建築太郎



# CCUSへの期待

- 技能者の証としての社会的認知
  - 不保持者を建設職人と呼ばないことによる、長期的視点での業界のイメージ向上
  - 悪徳業者排除へ活用、フェアトレードの推進(SDGs)
- 能力評価の証としての社会的認知
  - 目標の明確化によるモチベーションの向上
  - 努力が報われる報酬、工事代金への活用
- 偽装(一人親方、免税)の排除
- 就労履歴の蓄積のみならず就労管理、工程管理等々への展開(IT推進、生産性向上)
- データ連係による建退共や安衛法の資格情報のポータルとしての機能
  - ⇒ 普及促進の重要機能！





# CCUS+専門工事会社等の能力評価への期待

- 正直者がバカを見ない業界への転換
- 発注者への訴求
  - 施工体制の重要性
  - 適正価格のエビデンス
  - フェアトレード(SDGs)のエビデンス
- 重層構造の改善(先送り体質との決別)
- 担い手確保、雇用促進への相乗効果
- 企業間競争による技能者の処遇の向上
- 業界再編(専門工事会社の体制整備)と世代交代
- ITの推進、デジタルファブリケーション等のニュービジネスへの端緒



# CCUS普及促進への具体的提案

- CCUS登録=正規の建設技能者であることのエンドユーザーへのアピール(広報活動)
- 技能者と専門工事企業有能力、施工体制が品質に直結することのエンドユーザーへのアピール
- フェアトレード、SDGsの観点から、CCUS登録者が施工することの価値観の醸成(優先発注)
- CCUSを活用した紙ベースの資格情報等の電子化推進、利便性向上への取組み
- CCUSを前提とした合法的な「応援」の仕組みづくり
- CCUSを活用した突貫工事の抑制、働き方改革への対応
- CCUS、マイナンバー、インボイス、特定技能外国人等々を総合した制度構築のモデルケースづくり

